

JAとりで通信

第349号

2019年10月31日



発行 JAとりで総合医療センター

〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1
TEL 0297(74)5551 (代)

E-mail: toride@medical.email.ne.jp
URL: http://www.toride-medical.or.jp/

発行人 新谷 周三

「トリアージ」という言葉をお聞きになったことがあるかと思いますが、「トリアージ」とは、医療スタッフや医薬品等の医療資源が限られた状況で、できるだけ多くの傷病者に対して最善の治療を行うため、治療や搬送の優先順位を決めることをいいます。

当院の救急外来でも自主来院（ウォークイン）された患者さんに対して「緊急度判定支援システム（JTAS）」に沿った「院内トリアージ」を行っています。内トリアージ」を行っている。看護師が患者さんに症状やこれまでに罹患した病気などを聞き取り、血圧や脈拍などを確認します。これらの情報から看護師が治療の緊急性を5段階（A 蘇生、B 緊急、C 準緊急、D 低緊急、E 非緊急）に分けて判断し、優先順位をきめさせていただきます。

今年、救急外来の脇田看護師主幹と佐野さんの二人が日本救急看護学会「トリアージナース認定」の資格取得を目指して、同学会の講習会「トリアージナースコース」を9月に受講しました。

取得を目指し、同学会の講習会「トリアージナースコース」を9月に受講しました。『トリアージ』は乳幼児から高齢の患者さんまで全ての患者さんを対象とし、短時間の間に限られた情報から患者さんの緊急度を正確に判断しなければいけません。

インフルエンザウイルスは感染した方の咳やくしゃみの際に出るしぶきの中に隠れており、他の人に伝播することによって感染が拡がります。このしぶきに隠れたウイルスから身を守るには「マスク」と「換気」と「手洗い」です。

またインフルエンザウイルスは環境に付着した後も、場所によって最長48時間程度は感染力を保っています。くしゃみなどのしぶきが付着した場所を触った手で目や口、鼻の粘膜に触れると感染するため、**手を洗う**ことが予防につながります。この3つの対策でインフルエンザから身を守りましょう。

感染管理認定看護師 主任 藤原 文子

わたしの
近未来

「トリアージナース認定」の資格取得を目指して

救急外来

看護師主幹

佐野 広和 さん



取得を目指し、同学会の講習会「トリアージナースコース」を9月に受講しました。

「マスク」、「換気」「手洗い」が大切



ただし同じ空間に換気もせずにいると、空気中のインフルエンザウイルスの濃度が濃くなり、2メートル離れていても感染することがあるため、**定期的な換気**（1～2時間に1回）も重要な予防策です。



マスクはガーゼタイプのものではなく、一般に市販されている不織布タイプのマスクでないと効果がありません。ガーゼタイプではしぶき（水）に弱く、中まで浸透してしまう恐れがあるからです。しぶきは大体2メートルほど飛びますので、感染している方と2メートル以上の距離をあけることも効果的です。

インフルエンザワクチン

10月21日から

接種を開始しました



インフルエンザの重症化を予防するため、特に高齢の方と小児の方はインフルエンザワクチンを接種されることをお勧めします。

ワクチン接種の流れ（成人）

ワクチン接種の当日
診察予約がある方

ワクチン接種の当日
診察予約がない方

受付け

各外来窓口で受付けます。
診察前に接種希望をお申し
てください。

受付け

診察券をご用意ください。
救急外来で受付けます。

ワクチン外来

ワクチン外来（救急外来の診察室）で接種します。

受付時間

平日 9時～11時

土曜日（第1・3） 9時～10時30分

▶ 平日、予約外来の方のみ、上記時間以降もワクチンの接種を受けられます。

会計

中央会計窓口

料金

4,400 円（税込み）

65歳以上の方には、市町村から補助がありますので、各市町村の保健センターへご確認の上ご来院下さい。

ご注意下さい

- ▶ 治療中の方は、必ず主治医にご相談下さい
- ▶ 小児の場合は、小児科外来で事前に予約して下さい。
- ▶ ワクチンがなくなり次第、終了となります。

図1 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移

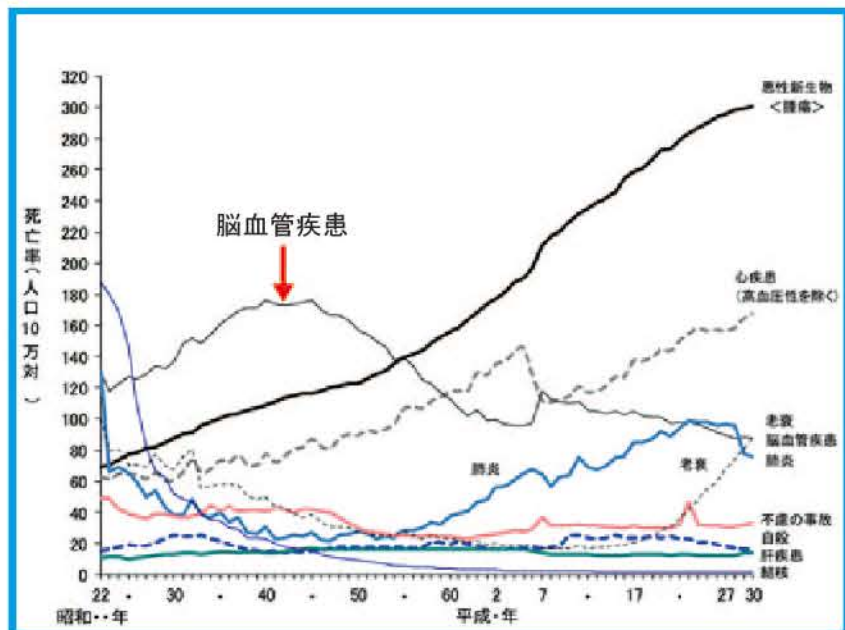
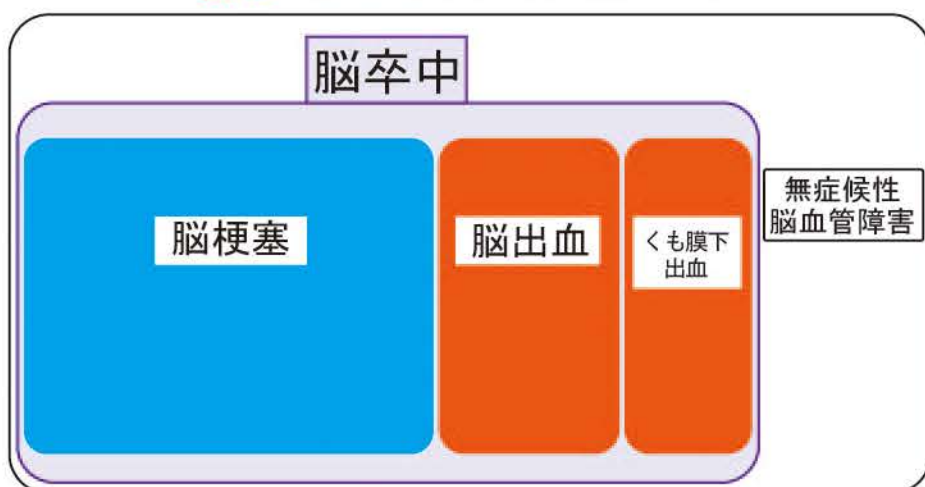


図2 脳血管障害の分類と割合



- 脳梗塞** 脳の血管がつまって脳の細胞が死んでしまう病気
- 脳出血** 脳の中の細い血管が破れて出血する病気
- くも膜下出血** 脳の表面の太い血管が破れて出血する病気

お知らせ



救急外来

院内の電気設備の点検に伴い全館を停電にするため、下記の時間帯は、救急外来の診療を、原則、休診にさせていただきます。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。

2019年11月17日（日）午前9時～午後5時（点検工事の都合により時間の変更がある場合がありますのでご了承ください）



ミニ講話

日時：2019年11月12日（火）①10時30分～ ②11時～

場所：1階エントランスホール

テーマ：「相談しにくい排尿トラブルについて～頻尿・尿漏れ～」

講師：皮膚・排泄ケア認定看護師 中村朋子



料金変更

消費税の引き上げに伴い基本料金が変更になりました。

日帰りドック：41,800円（税込） 脳ドック：44,000円（税込）

各市町村または健康保険組合から助成金が出ている方は、自己負担金が変わりますのでご注意ください。

※その他、各種オプション検査の料金も変わりました。

詳細については、健康管理センターまでお問合せください。

訂正とお詫び

第348号の「骨粗鬆症と骨折予防（12）」の最後の文が「少しでも皆様の健康の」とありますが、正しくは「少しでも皆様の健康のお役に立てば幸いです」です。訂正してお詫び致します。

人の動き

採用（9月）
高 美千子 看護部

脳卒中について

第1回

脳卒中とは 脳神経外科部長 河野 能久



かつては成人病、最近では生活習慣病と呼ばれる疾患群の一つに挙げられる脳卒中は、高齢化の進む日本において依然として重大な病気です。脳卒中は、古くは中風（ちゅうふう、ちゅうぶう、ちゅうぶ）といわれ、突然片側の手足が動かなくなり、半身不随となる病気として知られてきました。

歴史的にも脳卒中はたびたび登場し、上杉謙信は49歳（満47歳）の時、冬の廁（トイレ）で突然昏睡状態に陥り、その4日後に亡くなったと記載されています。

図1（平成30年人口動態統計）に示す通り、脳卒中は、昭和50年頃までは我が国の死因第一位でした。様々な努力によつて以前よりも死亡数は減少し、現在では肺炎や老衰と入れ替わりながら3、4位で推移しています。が、それでも毎年11万人が脳卒中で亡くなっています。

また、最近では単なる寿命ではなく、健康寿命の延伸が求められています。脳卒中は寝たきりになる原因のダントツの第一位です。脳卒中は脳血管障害、脳血管疾患などともいわれ、いくつかの病気をまとめた呼び方ですが、いわゆる「俗称」も多い病気です。このため、今後

救急外来のスタッフが県知事から表彰

救急委員会の河野委員長（脳神経外科部長）と、救急外来の山野看護師と脇田看護師主幹が、救急医療の向上に貢献したとして大井川茨城県知事から表彰されました。



表彰された山野看護師（左）と脇田看護師主幹（右）